

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

2月号



Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593

熊本県山鹿市山鹿511番地

TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

令和5年度 開放型病院運営協議会総会を開催しました

令和5年12月8日(金)ゆとりろ山鹿において、令和5年度山鹿市民医療センター開放型病院運営協議会総会を開催しました。

鹿本医師会を始め、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会の先生方、医療関係者を含め約80名の皆さまにご参加いただきました。

当日は総会に先立ち、本年度3回目の地域医療支援病院運営委員会及び開放型病院運営協議会を開催し、医療連携に関する実績が報告されました。

総会では、開会に当たり、別府病院事業管理者から、日頃の各医療機関のご協力により実施している紹介・逆紹介に対するお礼とともに、Microwave Surgery研究会の開催、市民公開講座の成功、現在の当センターの状況と今後の体制について報告があり、引き続き、開放型病院運営協議会会長である幸村克典鹿本医師会会長からは、三師会忘年会開催により失われていた大切なコミュニケーションの場が再開できたこと、これからも三師会と市民医療センターがワンチームで取り組んでいく必要があること等ご挨拶をいただきました。



その後議事に入り、議長の別府事業管理者の進行により、地域医療部長の工藤智志副院長が医療連携に係

る実績報告として「登録医師・医療機関数」、「紹介率及び逆紹介率」、「大型機器共同利用



」、「くまもとメディカルネットワーク(KMN)の同意取得件数」など、今年度の状況を報告し、引き続き開催されたミニ講演会では、工藤副院長が「山鹿市民医療センター整形外科の現状と課題」と題し講演を行いました。

総会終了後は、開放型運営協議会懇親会と合わせて三師会忘年会が4年ぶりに開催されました。当センターから出席した医師15名が自己紹介を行うとともに、出席いただいた地域の医療関係者の方々に対して日頃のお礼や今後のご支援とご協力をお願いしました。

医師会・歯科医師会・薬剤師会の会員さまをはじめ、多くの医療関係者の皆さまのご参加で盛り上がり、和やかな雰囲気の中で鹿本医療圏の連携などについて意見が交わされ大変有意義な懇談の場となりました。

ご多用のところ、ご出席を賜りました先生方を始め医療関係者の皆さま誠にありがとうございました。今後とも引き続き地域医療支援病院として地域の先生方との連携を密にし、本会及び地域医療の発展に尽力してまいりますので、一層のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責:地域医療連携室 深水 聖子)

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- 令和5年度開放型病院運営協議会総会を開催しました… P 1
北米放射線学会(RSNA)に参加しました… P 2
鹿本地域緩和ケア研究会 …… P 2
医療最前線(154) …… P 3
第56回公開特別講演会のご案内 …… P 3
外来担当医表(2月) …… P 4

北米放射線学会 (RSNA) に参加しました

11月26日から30日の5日間で開催される北米放射線学会 (RSNA) に参加するため、米国イリノイ州シカゴに1週間海外出張させていただきました。RSNAは世界各国から放射線の研究者らが集う世界最大の国際学会で、演題採択率も3割程度と相応に厳しいものとなっています。今回このような貴重な経験を与えてくださった永山先生をはじめ、熊大放射線科の先生方、また別府事業管理者に心より感謝申し上げます。

演題は『Non-invasive Liver Fibrosis Assessment with CT-based Iodine-uptake Parameters and Hepatosplenic Volumetric Indices』のタイトルで、学会2日目にデジタルポスターにおいて発表を行いました。侵襲的な肝生検の代替案としてCTを用いて非侵襲的に肝線維化のグレードを評価することは、大きな臨床的有用性を有する可能性があります。今回の研究で、肝ダイナミックCTから得られる造影剤の洗い出し率と脾臓の体積が線維化と高い相関があることを示し、再現性が良く広く利用可能な代替案として発表しました。

英語力に不安を抱えたまま発表当日を迎えましたが、なんとか無事に終えることができ、短い時間でしたが世界トップレベルの研究にも触れることができました。異国の文化を肌で感じながら、熊大の先生方と一緒に食事したり観光したり交流を深めることができ、言語の壁や体格や性格上の違いもある中で、世界で活躍する日本人の凄さを改めて感じました。

今後は、博士号取得のために論文化を目指します。医療

技術は年々細分化し高度化していますが、医療者は技術のみならず経営的視点やマネジメント力など幅広い知識も要求されます。若手スタッフが将来のキャリアアップを考えたとき、チャレンジしたくなるような制度も必要だと思います。大学院や国際学会に興味を持つ医療者が増えてくれることを願っています。(文責：診療放射線技師 吉田 健一郎)



鹿本地域緩和ケア研究会

令和5年11月28日(火) 鹿本医師会館において、第27回鹿本地域緩和ケア研究会を開催しました。

この研究会は、がん患者さんへの緩和ケアの充実と地域への啓発活動及び会員のレベルアップを目的とし、鹿本医療圏の歯科医師会、薬剤師会、看護協会、訪問看護ステーション、栄養士会、介護支援専門協会、熊本市立植木病院、山鹿市民医療センター、以上9団体の医療従事者及び医療関係者が会員となり、多職種の先生方のご協力を得て、緩和ケアに関する講演会・症例発表を平成19年より開催していました。新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年より3年間開催を休止しておりましたが令和4年の秋より

再開し、今年度は5月に講演会、11月に症例発表と年2回開催することができました。

今回は、えいせい堂薬局：薬剤師 塩塚雄基先生、山鹿中央病院：看護師 見崎由紀先生、栄養士 石川夕美子先生、熊本市立植木病院：島田英里先生に症例を発表していただきました。

参加者からは『『最期まで家に居たい』を支えるもの、在宅での看取りの実際、本人の気持ち、家族の気持ち、命の大切さ、在宅の看取りはスピーディーに対処すべきであること、実際の介護者の話を聞くことができて良かった。』などの感想をいただきました。

在宅ケアにおいて、患者さん、ご家族を支えるために、何が最善なのか、専門職として何ができるのかを深く考える機会となりましたし、各職種が専門的に介入するといった多職種連携が大切であることを改めて学ぶことができました。

今後も鹿本地域の医療機関や多職種との連携を図り、地域の緩和ケア医療への貢献に務めて参りたいと思います。(文責：緩和ケア病棟看護師長 江藤 千鶴)



医療最前線 (154)



膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) について

消化器内科医師

上野 茂紀

今回は検診で指摘される頻度の高い膵疾患の膵疾患の膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN) について記載しようと思います。

膵嚢胞性疾患は全人口の3%ほどに認められ、80歳以上では約8~9%と年齢とともに増加することもあります。その中でもIPMNの頻度が最も高いと言われています。

エコーで良性の嚢胞に見え、嚢胞自体が良性だったとしても近傍に悪性腫瘍が潜んでいる可能性があります。

膵嚢胞性疾患を指摘された方の当センターでの流れとしては、まず造影CTやMRCPで精査を行い、可能であれば超音波内視鏡も検討します。膵管と交通していたり多房性であればIPMNが疑われます。

IPMNは基本的には良性ですが時間を経て次第に大きくなり、最終的には浸潤癌になることが知られています。通常の膵癌と違い癌化する場合でも比較的ゆっくり進行するため切除可能な状態で発見する

ことが大切です。癌化のリスクファクターがあり、それに応じて経過観察の期間を変えています。

- ①嚢胞が20~30mm以上
- ②嚢胞内部に造影される結節
- ③主膵管が5mm以上
- ④尾側膵管の萎縮
- ⑤経過中に嚢胞の増大など

上記のどれにも当てはまらなければ低リスクであり、半年おきに経過観察し1年が経過したら1年おきの経過観察が可能と思われます。リスク因子のない10mm程度の症例であれば検診エコーでの経過観察でもいいと思われます。逆に高リスク群では3~6ヶ月の経過観察や必要に応じてERCPでの細胞診などを検討していきます。

どこで経過観察を終了するかは医師間でも少し基準が異なり、高齢でも癌化した際に手術の希望があるかどうか、リスク因子があるかどうか、ADLなどをみて決めています。

当センターではEUS検査も可能ですので迷われる症例などありましたらいつでもご紹介いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。

第56回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
21. 食欲不振

下記により第56回公開特別講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時：令和6年2月9日 (金) 19:00~

形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)

会場：オンライン参加 / Zoomミーティング

会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター

演題：「山鹿市民医療センターが世界の医療をリードする！」
~食道外科医からのメッセージ~

司会：山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透 先生

演者：熊本大学大学院 生命科学研究部

消化器外科学 吉田 直矢 特任教授

参加費：無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/95409238196>

(参加QRコード) ⇒

ミーティング ID : 954 0923 8196

パスコード : 425906

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。
※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 深水、西田

TEL:0968-44-2185 FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

2月

診療科名		月	火	水	木	金
呼吸器内科		※ 後藤 由比古	※ 濱田 昌平	※ 後藤 英介	—	※ 後藤 英介
腫瘍内科		—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科		上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科		川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科		大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※ 小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)		横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元 雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科		別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科		—	※ 富口 麻衣 (完全予約制)	—	—	—
泌尿器科		—	※ 原田 成美	—	※ 神波 大己 教授	—
小児科		※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで 予防接種(午後)	※ 石井 真美 9:00～16:30まで	※ 徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 器 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
	眼科	—	非常勤医師 (完全予約制)	非常勤医師 (完全予約制)	—	—
産婦人科		※ 片渕 美和子 (午後)	※ 片渕 美和子 (午後)	—	非常勤医師 ※ 片渕美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)		織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科		吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来		外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診		高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。

当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。

※ 非常勤医師です。 ※ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

2月

名 称	担 当 医 等	実 施 日	診察場所
外 来 化 学 療 法(予約制)	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各 診 療 科
	宮 本 英 明	毎週 金曜（がん薬物療法専門医）	
禁 煙 外 来 (予約制)	坂 田 和 子	毎週 月曜（午後）	Aブロック
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂 田 和 子	毎週 火曜・木曜（午後）	
小 児 科 予 防 接 種	※ 石 井 真 美	毎週 水曜（受付時間13:30～15:30）	
ス ト ー マ 外 来	担 当 医	毎月 第3水曜（午後）	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片 渕 美 和 子	2/5(月)、6(火)、8(木)、13(火)、19(月)、22(木)、26(月)、29(木)	
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来（予約制）	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>